

日本板硝子がアポロ・ファンドから資本注入、借入金の一部株式化などを公表—本件後の 損益・財務を注視

以下は、日本板硝子株式会社（証券コード：5202）の新生 NSG グループに向けた抜本的施策についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 26年3月24日付けで、当社は「新生 NSG グループに向けた抜本的施策」を公表した。当社においては自助努力では財務体質の再構築に長期間を要すると考えており、本件は短期間で抜本的に財務体質を改善させて、成長軌道を確保していくことを目的としている。具体的には、①アポロ・ファンドによる第三者割当増資（総額：1,650億円）、②株式併合を通じた既存株主からの株式買い取りによる非公開化、③主要金融機関における借入金の株式化（同：1,400億円）、④国内既存借入金のリファイナンスの実行、⑤英国子会社における既存借入金の返済—を行う予定である。株主総会における議案の可決などの必要な手続きが進めば、27年3月下旬までに一連の手続きが完了する予定となっている。
- (2) JCR では、本件は借入金の一部株式化を伴うものの、本件を実施しない場合でも、当社の損益・財務内容などを踏まえれば、債務不履行までの距離は相応にあると考えている。26/3期の営業利益は310億円（前期：164億円）、親会社の所有者に帰属する当期損益は20億円の黒字（同：138億円の赤字）の計画であり、業績は回復傾向にある。また、26/3期第3四半期末の有利子負債は5,702億円（前期末：5,227億円）、自己資本は1,243億円（同：1,081億円）である。依然として有利子負債は高水準だが、ネット D/E レシオは4.22倍（同：4.23倍）であり、近年、財務構成は大きく変わっていない。今後、帰すうを見守りながら、本件後の損益・財務体質の改善などに注視していく。

（担当）井上 肇・下田 泰弘

【参考】

発行体：日本板硝子株式会社

長期発行体格付：BB+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル